

森りょうじ リポート。(79号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

■“527億円”規模の自治体へ

3月定例会では平成28年度予算を審査しました。その額は527億円。私が初当選をした時の予算規模は約400億円でしたので、財政面から見ても当市の成長を強く感じます。審査では福祉、教育、土木、産業から消防費まで総ての事業に対し『住民的視点』を基本にしてチェックを行いました。もちろんチェック体制は今後予算を執行していく中でも継続していく必要があります。

■流政会の視点(予算審査にあたって…)

私が代表を務める流政会は8名で構成していますが、議会ルール上、予算審査に参加できるのは2名のみです。そのため審査の前には全員で1千ページに及ぶ予算関連資料を1ページずつチェックし、質問を整理していきます。その際、以下のポイントを意識しました。

- ① 新年度から始まる新規事業の目的や目指すべき効果
 - ② 前年度と比較して予算額が増減した事業費の理由
 - ③ 住民目線として理解が得られる事業かをチェック
- これらの視点を持って厳格に審査をした結果、新年度予算は『賛成』の立場と致しました。

■各種ご案内

- ① 次回の駅頭(80号の配布)はGW明けからになります。
※会報80号のポスティングは致しません。なおホームページ上でご覧いただけます。
※日常活動はホームページ・SNSでご覧頂けます。
- ② 第2回定例会は6月2日(木)開会の予定です。
- ③ 5月14・15日に市議会報告会が開催されます。
※開催場所などは議会ホームページでご確認下さい。

○1976年6月12日流山生まれ(39歳)

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ
流山市立新川小、流山市立北部中卒業
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社(管理部ほか)

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選(4,508票)

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選(5,830票)

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

○後援会事務所:流山市中野久木559-2

討議資料

森りょうじ

森が動く。



流山市議会議員

討議資料

昨年春の選挙から1年が経過しました。身に余る程の結果を頂き、感動と併せて決意を新たにすることを昨日のことに思い出します。同時に選挙で掲げた政策が実現できているかの視点も忘れてはなりません。そのような点からすると毎年4月は活動成果を振り返る時期とも言えそうです。

一般質問①

【住宅都市の将来像は？】

メディアを見ると流山市が注目されていることを強く実感します。人口減少時代と言われる中 30-40代を中心とした人口の流入増加は全国的にも注目をされていますが、一方、市内で暮らす私たちにとっては様々な課題を感じることも多いのではないのでしょうか。その一つが住宅分野と言えます。

現在の市内住宅需給の実態は？

是非論はあるにせよ、おおたかの森駅周辺のマンション中心の建設、緑地を更地にし住宅地へと変えていく開発は現代の住宅事情の特徴と言えます。経済を軸に成り立つ世の中ですので、単にダメだ、と言っても強く抑制することは難しいのが現実です。そこで質問の1点目として現在の流山市の住宅状況を確認しました。

近年は新築マンションを中心に年間2,500戸以上のペースで住宅が供給されている実態が明らかになりました。一方、空き家数は平成25年度調査で6,710戸であり、特に古い賃貸用の物件が多いとの答弁でした。

総合的な計画づくりが必要では？

流山市一つをみても感じる住宅問題。国も「空き家対策特措法」を制定するなど対応に乗り出しています。当市も「空き家対策条例」「木造住宅耐震改修の促進」「高齢者住み替え支援制度」「空き家を利用した高齢者ふれあいの家の開設支援」などを行っています。またマンションに関しては「子育て応援マンション認定制度」「大型マンションへの子育て支援施設・保育所併設の促進」などの施策も打ち出しています。そのようなことから先進自治体で進めている住宅政策に関する基本計画策定を求めたところ、現在ある都市計画関連の計画を踏まえて検討をしていきたいとの答弁でした。

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

※ポスティングスタッフ募集中！この会報は森本人とボランティア皆様のご協力により配布されています。（業者使用一切なし）

一般質問②

【1千億円を管理する。】

安全性・流動性・効率性の確保を！

人口の増大と同時に大きくなるのが、市の財政。表面で記載したように一般会計は527億円となり、その他の特別会計や上下水道事業会計と合わせて1千億円規模にまで膨らんでいます。そこで求められるのが公金の運用・適正管理です。例えば公共工事を発注すれば企業への支払い業務が生じるため、支払い資金の確保が必要になります。また低金利の時代ですが、大きなお金を預ける以上、少しでも金利の高いところに預けたいと思うのは行政も一緒です。このように市政運営にあたっては多額の公金を動かすため、緊張感のある管理が求められます。会計管理者からは積極的に情報を集めながら、安全かつ有利性を考えて管理していきたいとの答弁でした。

資料⑤：健全な財務会計に向けて

◎流山市の財産

- ・有価証券：622万690円
- ・出資による権利：123億823万6800円
- ・債権：693万9500円
- ・基金（土地・建物含む）
：82億6052万5130円
- ・一時借入金：30億円（地方自治法235条）



一般質問③

【市民力を高める体制を！】

街が拡大する一方、市議会の場でも大きな課題となっているのが地域コミュニティづくりです。新聞なども「自治会」を特集するなど、地域のあり方に関する議論は終わりがありません。高齢化、子育て支援、防災等の対策を考えても地域コミュニティ無くしては成り立たない社会構造になっています。そこで今ある組織（自治会）の活性化策として小学校区内での自治会同士の連携強化、公立高校と地域との連携について提案しました。選挙年齢の引き下げにより高校生も政治を身近に感じる実践的な取り組みが必要であり、学校と地域の連携強化はその一つと考えます。

資料⑥：17万総活躍地域社会に向けて

◎流山市内にある公立高校

- ①流山北高校
- ②流山高校（園芸・情報…）
- ③流山おおたかの森高校
- ④流山南高校
- ⑤特別支援学校流山高等学園



参考：千葉県ホームページより

【連絡先】TEL & FAX: 7155-3236
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp